

Tokyo Tobihino Rotary Club



会長テーマ

会員同士の親睦を深めると共に、
地域社会の奉仕を拡大していく。

2024-25 Weekly Report vol.37-40



会長 仙波秀夫



幹事 日高絢子

2025年5月18日(日) 第1722回 フードドライブ事業 於:イオンモール多摩平の森

受付開始を前に、飛火野RC仙波会長より、「おはようございます。陽は出ていませんが蒸し暑い陽気です。健康に留意して作業に当たってください。たくさん食品が集まればいいですね。よろしくお願いします」と挨拶があり、日野RC遠藤会長からも挨拶がありました。

その後、打ち合わせの後、両クラブ会員と日野社会福祉協議会のご担当・IVUSA日野クラブの学生さん・ボランティアで駆け付けた皆さんがそれぞれ持ち場に就き、来場される提供者の受け入れ態勢と協力呼びかけの準備をしました。

快晴ではなかったもののまずまずの天候で、新聞折込チラシを見て来場された市民、あらかじめ会員が呼び掛けていた皆さんから早々に食品が寄せられ、受付窓口は混雑しました。

この数年多くの食品類の値上げが重なり、家庭に眠る食品や贈答品でいただく食品類も減り、非常持ち出し品の詰め替えなどででた食品などを含めても少なくなっています。

しかし、社会情勢が深刻な中、食品を必要とする人は年々増加さらに支援が必要になっています。

このようなイベントだけでなく日常的な支援を呼びかけることが必要ではないでしょうか。

今回も麺類・缶詰などたくさん食品の寄付を頂きました。皆さんの善意に感謝です。

参加の会員・支援いただいた多くの皆様・ボランティアの学生さん終日ご苦労様でした。集まった食品はフードバンクに確実にお届けします。ありがとうございました。

●●フードドライブとフードバンク(改めて学習)●●

フードドライブとフードバンクとの大きな違いは、誰が食品を提供するか、という点です。フードドライブは企業に限らず、一般家庭などの個人が食品を提供します。買ったもの

の食べきれず、余らせてしまう食品などが寄付されます。

●●フードバンク活動とは〈おさらい〉●●

食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する「フードバンク」と呼ばれる団体・活動があります。まだ食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品(いわゆる食品ロス)を削減するため、こうした取り組みを有効に活用していくことも必要と考えています。農林水産省では、食品ロス削減を図る一つの手段としてフードバンク活動を支援します。(ネットより)

●●フードバンクの課題●●

フードバンクの大きな課題の一つは、財政基盤の不安定さです。フードバンクは、法人格を持つ大規模な団体から、法人格を持たない小規模の団体までさまざまな形態があり、その財政状況も大きく異なります。フードバンク活動は多くのボランティアに支えられていますが、人件費や寄贈品の運搬費(車両費・燃料代)、保管管理費(光熱費・賃料)など、さまざまな費用が掛かります。

消費者庁の調査によると、2023年時点で法人格を取得していない団体は28%でした法人格があっても、活動の大半をボランティアで運営しているという団体も少なくありません。ボランティアの活動価値を東京都の最低賃金を基準に算出したところ、その役務の受け入れ評価額は2000万円以上に相当するとされています。

フードバンクはボランティアによる支援が不可欠ですが、いかに安定的かつ持続的に活動を継続できるかが重要な課題です。そのため、お金だけでなく、役務や場所の提供などの社会的資源を活用し、財政基盤の維持・強化を図る取り組みが求められています。(ネットより)

